

令和6年度 評価基準

教科	理科	学年	第4学年		
単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎季節と生物① 春の始まり 春の始まりの生物のようす	1	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらと関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。			身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
1 天気と気温	7	気温に着目して、それらと天気の様子とを関係付けて、天気の様子を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ●天気について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 ●天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●天気について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 ●天気について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●天気についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ●天気について学んだことを学習や生活に生かそうとしている

令和6年度 評価基準

<p>2 季節と生物②</p> <p>春</p> <p>1 1年間の観察</p>	<p>2</p>	<p>動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらと関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>		<p>身近な動物や植物について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>春の身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>
<p>2 春の生物のようす</p>	<p>4</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●春の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 ●春の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 		

令和6年度 評価基準

<p>3 電池のはたらき</p> <p>1 かん電池のはたらき</p>	<p>3</p>	<p>電流の大きさや向き、乾電池につないだ物の様子に着目して、それらに関係付けて、電流の働きを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>乾電池のつなぎ方を変えると、電流の向きが変わり、モーターの回り方が変わることを理解している。</p>	<p>電流の働きについて、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>電流の働きについての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>
<p>2 かん電池のつなぎ方</p>	<p>5</p>	<p>●電流の働きについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>●電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。</p>	<p>●電流の働きについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>●電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。</p>	<p>電流の働きについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>●電流の働きについての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>●電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
<p>4 とじこめた空気や水</p> <p>1 とじこめた空気</p>	<p>3</p>	<p>体積や押し返す力の変化に着目して、それらと圧す力とを関係付けて、空気と水の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>●空気の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>●閉じ込めた空気を圧すと、体積は小さくなるが、押し返す力は大きくなることを理解している。</p>	<p>空気の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>空気の性質についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>
<p>2 とじこめた水</p>	<p>3</p>	<p>閉じ込めた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないことを理解している。</p>	<p>閉じ込めた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないことを理解している。</p>	<p>水の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>空気と水の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

令和6年度 評価基準

<p>◎季節と生物③</p> <p>夏</p>	<p>5</p>	<p>動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらと関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>●夏の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>●夏の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>●夏の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p>		
<p>◎星や月①</p> <p>星の明るさや色</p>	<p>3</p>	<p>星の明るさや色に着目して、それらを比較しながら、星の特徴を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>●星の特徴について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>●空には、明るさや色の違う星があることを理解している。</p>	<p>星の特徴について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>星の特徴についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>

令和6年度 評価基準

<p>◎季節と生物④</p> <p>夏の終わり</p>	<p>3</p>	<p>動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●夏の終わりの身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 ●夏の終わりの身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 ●夏の終わりの育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 		
-----------------------------	----------	---	--	--	--

令和6年度 評価基準

<p>5 雨水のゆくえ</p> <p>1 流れる水のゆく</p>	<p>2</p>	<p>水の流れやしみ込み方、行方に着目して、それらと地面の傾きや土の粒の大きさ、水の状態変化とを関係付けて、雨水の行方と地面の様子、自然界の水の様子について理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>水は、高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解している。</p>	<p>雨水の行方と地面の様子について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>雨水の行方と地面の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>
<p>2 土のつぶの大きさとしみこみ方</p>	<p>2</p>		<p>●雨水の行方と地面の様子について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>●水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解している。</p>	<p>雨水の行方と地面の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	
<p>3 空気中に出ていく水</p>	<p>3</p>		<p>●自然界の水の様子について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>●水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくことを理解している</p>	<p>自然界の中の水の様子について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>自然界の水の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>
<p>4 空気中の水</p>	<p>3</p>		<p>空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあることを理解している。</p>	<p>自然界の中の水の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>雨水の行方と地面の様子、自然界の水の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

令和6年度 評価基準

<p>6 星や月②月と星の位置の変化</p> <p>1 月の位置の変化</p>	<p>5</p>	<p>月や星の位置の変化に着目して、それらに関係付けて、月や星の特徴を調べる活動を通してそれらについて理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>●月の特徴について、器具や機器をなど正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>●月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している</p>	<p>月の特徴について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>月の特徴についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>
<p>2 星の位置の変化</p>	<p>3</p>	<p>星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。</p>	<p>●星の特徴について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>●星の特徴について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>●星の特徴について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>月や星の特徴について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

令和6年度 評価基準

<p>7 わたしたちの体と運動</p> <p>1 うでが動くしくみ</p>	<p>4</p>	<p>骨や筋肉のつくりと働きに着目して、それらを関係付けて、人や他の動物の体のつくりと運動との関わりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>●人の体には骨と筋肉があることを理解している。</p> <p>●人や他の動物の体について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p>	<p>人や他の動物の体について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>人や他の動物の体についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>
<p>2 体全体のほねときん肉</p>	<p>4</p>		<p>人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを理解している。</p>	<p>人や他の動物の体について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>人や他の動物の体について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

令和6年度 評価基準

<p>◎季節と生物⑤秋 秋の生物のようす</p>	<p>3</p>	<p>動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>●秋の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>●秋の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>●秋の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p>		
------------------------------	----------	---	---	--	--

令和6年度 評価基準

<p>8 ものの温度と体積</p> <p>1 空気の温度と体積</p>	<p>4</p>	<p>体積の変化に着目して、それと温度の変化とを関係付けて、金属、水及び空気の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>空気は、温めたり冷やしたりすると、その体積が変わることを理解している。</p>	<p>空気の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>●空気の性質についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>●空気の温度と体積の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
<p>2 水の温度と体積</p>	<p>1</p>		<p>水は、温めたり冷やしたりすると、その体積が変わることを理解している。</p>	<p>水の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>	
<p>3 金ぞくの温度と体積</p>	<p>2</p>		<p>●金属の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>●金属、水及び空気は、温めたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを理解している。</p>	<p>金属の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>金属、水及び空気の温度と体積の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

令和6年度 評価基準

<p>◎星や月③ 冬の星</p>	<p>2</p>	<p>冬の星に着目して、それらに関係付けて、冬の星の特徴を調べる活動を通してそれらについて理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>			<p>●星についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>●星について学んだことを学習や生活に生かそうとしている</p>
<p>◎季節と生物⑥冬 1 冬の生物のようす</p>	<p>3</p>	<p>動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらに関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>●冬の身近な動物の活動について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>●冬の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>●冬の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p>		
<p>2 1年間をふりかえって</p>	<p>2</p>		<p>動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること、また、植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。</p>	<p>身近な動物や植物について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

令和6年度 評価基準

<p>9 もののあたたまり方</p> <p>1 金ぞくのあたたまり方</p>	<p>3</p>	<p>熱の伝わり方に着目して、それと温度の変化とを関係付けて、金属、水及び空気の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●金属の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 ●金属は熱せられた部分から順に温まることを理解している。 	<p>金属の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>金属の性質についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>
<p>2 水と空気のあたたまり方</p>	<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●水は熱せられた部分が移動して全体が温まることを理解している。 ●空気は熱せられた部分が移動して全体が温まることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●水の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 ●空気の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 	<p>金属、水及び空気の温まり方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	

令和6年度 評価基準

<p>10 すがたを変える水</p> <p>1 熱したときの 水のように</p>	5	<p>状態の変化に着目して、それと温度の変化とを関係付けて、水の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>●水の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</p> <p>●水は、温度によって水蒸気に変わることを理解している。</p>	<p>●水の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>●水の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>水の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>
<p>2 冷やしたときの 水のように</p>	1		<p>水は、温度によって氷に変わることに、また、水が氷になると体積が増えることを理解している。</p>	<p>水の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。</p>	
<p>3 温度と水のすがた</p>	2		<p>水は、温度によって水蒸気や氷に変わることを理解している。</p>		<p>水の体積や状態の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
<p>◎季節と生物⑦</p> <p>春のおとずれ</p>	1	<p>動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらと関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>			<p>身近な動物や植物について一年間を通して学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>